

第1学年1組 社会科 学習指導案

実施期間 令和〇年 〇月  
指導者 〇〇 〇〇

1 単元の構想

アジア州 ～なぜアジアの国々は、急速に経済成長を遂げたのだろうか～

子どもの姿	アジア州の学習を通して、その地域的特色を理解する中で現在抱えている課題を発見し、今後アジア州が成長・発展するための解決方法をアジア州の一員としての自覚をもって進んで考えている。 自分たちが住んでいるアジア州に関心をもち、アジアで生活する一人として自覚を深め、さらに広い視野から学びを授業、学校生活、社会に生かしている。		
	<b>知識及び技能</b>	<b>思考力、判断力、表現力等</b>	<b>学びに向かう力、人間性等</b>
単元の目標	① アジア州について、変化に富む自然環境と、都市化が急速に進む様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解できる。 ② 学習テーマをもとに、効果的に調べまとめることができる。	① アジア州の経済成長の理由について、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ② 経済成長の過程を地域ごとに理解し、州全体の地域的特色を考察できる。	① アジア州に関心をもち、学習課題を意欲的に追究しようとしている。 ② アジアの一員としてよりよい社会の実現を視野に主体的に追究、解決しようとしている。
目標に向かうための手立て	○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 <b>【めあて】</b> 「世界において、唯一アジア州だけが急速な経済成長を遂げているのはなぜか」という課題を設定し、生徒同士の思考や予想との違いに出合わせ、問いが生じるようにする。そしてGTからのビデオレターにより、問いからめあてに向けて共有化を図る。 <b>【振り返り】</b> 学習過程を通して気付いたことや自分の中での変容などをロイロノートに蓄積し、単元を通して随時確認することで、学びや学び方の変容を自覚できるようにする。 <b>【対話】</b> ジグソー学習や4人班での班学習による意見交流の場面において、自分の考えをロイロノートのシンキングツールに整理することで、自分の考えを再構築していく態度を養う。		
子どもの実態33人	① アジア州の国名と位置について正しく理解している生徒は28人いる。 ② それぞれの国について、何らかの特徴を述べることはできるが、経済の視点で特色を述べることができる生徒は5人ほどである。	① アジア州の経済成長の理由について、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ② 前章では、人々の生活と環境の関連から諸地域の地域的特色を考察した。	① アジア州に関心をもって、意欲的に追究しようとしている生徒は18人。 ② 前章の学習では、世界の人々の生活の違いに目を向けることを通して、他国の文化を尊重することの大切さを自覚していた。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① アジア州について、変化に富む自然環境と、都市化が急速に進む様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 ② 経済成長の学習テーマをもとに、効果的に調べまとめている。	① アジア州の経済成長の理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ② 経済成長の過程を地域ごとに理解し、州全体の地域的特色を考察している。	① アジア州に関心をもち、学習テーマを意欲的に追究しようとしている。 ② アジアの一員としてよりよい社会の実現を視野に主体的に追究、解決しようとしている。

指導と評価の計画（9時間取り扱い ●本時9/9）

課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
なぜアジアの国々は、急速な経済成長を遂げたのだろうか。	1	1	○本単元を通じた学習課題を知り、アジア州の急速な成長と変化について意欲的に追究する。	【主】①観察・ワークシート 【思】①ワークシート
	2	2	○アジア州について基本的な知識を身につける。	【知】①小テスト・ワークシート
	3	2	○担当する国を分担してジグソー学習を行いアジア州の多様性の視点から学習課題を考察する。	【思】②観察・プレゼンテーション資料
	4	3	○アジア州の8つの国々を班ごとに調査追究し、資料を根拠にまとめ発表する。	【知】②プレゼンテーション資料 【思】①ワークシート
	5	1	●今後のアジアの発展のための課題について考察する。	【思】②観察・ワークシート

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

様々な資料から可能性を探る活動を通して、持続可能なアジアを創り出すための必要な行動について、各国の自然及び社会的条件に着目して考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	8	1 前時の振り返りをし、本時のめあてを共有する。	○アジア州の地域的特色について再確認しよう。 ・大消費地・豊富な労働力 ・資源・外国企業誘致	○前時の振り返りの疑問点や意見の相違を引き出し、めあてへつなげる。	タブレット 電子黒板
		なぜ、アジアの国々は、急速に経済成長を遂げたのだろうか。			
展開	7	2 国別の考えを代表者が発表する。	中国 韓国 インドネシア シンガポール タイ ブータン サウジアラビア インド		タブレット 電子黒板
	5	3 アジアにおける日本の立場について理解する。	○これから私たちにできることは何だろう。	○アジアの一員としての当事者意識をもたせる。	
わたしたちのアジアが現在、そして未来に向けて「豊かさ」を持続可能にしていくには、何が必要なのだろうか。					
開	20	4 持続可能なアジアを作り出すためのキーワードを作り、発表する。	○5つの視点の中から選択し、考えてみよう。 ①労働人口と消費人口 ②資源とエネルギー ③貿易 ④国際関係 ⑤環境と治安	○板書で思考を可視化する。	
		5 単元の振り返りをする。	○気付いたこと、新たな学びや学び方について振り返ってみよう。	◎【思】② 持続可能なアジアを創り出すために必要なことを考え、表現している。	ワークシート タブレット
終末	10				

# 社会

## 第1学年1組 社会科 学習指導案

中学校・社会

実施期間 令和〇年 〇月  
指導者 〇〇〇〇

### 1 単元の構想

アジア州へなぜアジアの国々は、急速に経済成長を遂げたのだろうか～

単元終了後の姿  
アジア州の学習を通して、その地域的特色を理解する中で現在抱えている課題を発見し、今後アジア州が成長・発展するための解決方法をアジア州の一員としての自覚をもって進んで考えている。  
自分たちが住んでいるアジア州に関心をもち、アジアで生活する一人として自覚を深め、さらに広い視野から学びを授業、学校生活、社会に生かしている。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
① アジア州の	① アジア州の経済成長の理	① アジア州に関心をもち、

ポイント

### 単元終了時の子どもの姿

身についた姿や、今後どのようにつながり生かされるかを具体的に想定して書く。

「世界において、唯一アジア州だけが急速な経済成長を遂げているのはなぜか」という課題を設定し、生徒同士の思考や予想との違いに出合わせ、問いが生じるようにする。そしてG Tからのビデオレターにより、問いからめあてに向けて共有化を図る。

【振り返り】  
学習過程を通して気付いたことや自分の中での変容などをロイロノートに蓄積し、単元を通して随時確認することで、学びや学び方の変容を自覚できるようにする。

【対話】  
ジグソー学習や4人班での班学習による意見交流の場面において、自分の考えをロイロノートのシンキングツールに整理することで、自分の考えを再構築していく態度を養う。

子どもの実態	① アジア州の国名と位置について正しく理解している生徒は28人いる。	② それぞれの国について、何らかの特徴を述べることはできるが、経済の視点で特色を述べることができる生徒は5人ほどである。	① アジア州の経済成長の理由について、多面的・多角的に考察し、表現できる。	② 前章では、人々の生活と環境の関連から諸地域の地域的特色を考察した。	① アジア州に関心をもち、意欲的に追究しようとしている生徒は18人。	② 前章の学習では、世界の人々の生活の違いに目を向けることを通して、他国の文化を尊重することの大切さを自覚していた。
33人						

ポイント

### 子どもの実態

具体的な指導の手立てにつながるよう、三つの柱に照らし合わせて「どのような児童生徒が何人いるのか」詳細に書く。

単元の評価規準		
知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① アジ	アジア州の経済成長の理由につ	① アジア州に関心をもち、学

ポイント

課題等	次	時	学習活動	評価する内容と方法等
なぜアジアの国々は、急速な経済成長を遂げたのだろうか。	1	1	○本単元を通して、学習課題を知り、アジア州の急速な成長と変化について	【主】①観察・ワークシート 【思】①ワークシート
	3	3		
	4	4		
	5	1	●今後のアジアの発展のための課題について考察する。	【思】②観察・ワークシート

### 課題等

資質・能力を育成するための追究に値する「単元を貫く問い」を設定する。

(1) 本時の目標  
持続可能なアジアを創り出すため、様々な資料から可能性を探る活動を通して、将来そして現時点でどのような行動がアジアにとって必要かを考えることができる。

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示・予想される子どもの反応	○教師の支援・評価	備考・ICT機器等
8	1	前時の振り返りを行い、本時のめあてを共有する。	○アジア州の地域的特色を確認しよう。 ・豊富な労働力 ・国企業誘致	○前時の振り返りの疑問点や意見の相違を引き出し、めあてへつなげる。	タブレット 電子黒板

ポイント

### 本時の評価

本時の目標と評価との整合性を図る。

20	4	持続可能なアジアを作り出すためのキーワードを作り、発表する。	○5つの視点の中から選択し、考えてみよう。 ①労働人口と消費人口 ②資源とエネルギー ③貿易 ④国際関係 ⑤環境と治安	○核	
終末	5	単元の振り返りをする。	○気付いたこと、新たな学びや学び方について振り返ってみよう。	◎【思】 ②持続可能なアジアを創り出すために必要なことを考え、表現している。	ワークシート タブレット